

シラバス

ナンバリングコード／ 科目 番号	HE24021	
科目名	医科学のための英語 I	
科目名 (英語)	English for Medical Sciences I	
授業形態	演習・講義	
標準履修年次	1 年次	
実施学期・曜時限等	春 A 月 1、春 B 月 1 秋 A 木 3、秋 B 木 3	
使用教室	4B115	
単位数	2	
担当教員名	内田和彦、久武幸司	
使用言語 (☑してください)	☑日本語 ・ □英語 ・ □バイリンガル	
ティーチングフェロー(TF)・ ティーチングアシスタント (TA)	なし	
オフィスアワー等	オフィスアワーは特に定めませんが、事前連絡をしてから訪問すること 内田和彦 kazuhiko.uchida@cbiri.org	
学位プログラム・コンピテン スとの関係	汎用	1. コミュニケーション能力
	医療	4. 医科学の研究推進能力
	国際	5. 国際課題の理解と対応立案能力
授業の到達目標 (学修成果)	1. 医科学分野の英語論文の読解のために必要な頻出英単語を覚える。 2. 英語でのコミュニケーション能力を高めるため、音読トレーニングを行い、実用英語を身につける。	
他の授業科目との関連	TOEFL 演習、健康医科学グループワーク演習 医科学専門語学 (国際)	
履修条件	なし	
授業概要	<p>医科学関連の論文や文献を精読するための英単語を文字と音声から覚える。医科学領域の専門用語を理解し、英単語を文字だけではなく、音声からも理解できるようにする。さらに、毎回の英単語を語でのプレゼンテーションと質疑応答などコミュニケーションのために、音読トレーニング (シャドウイング) を行う。シャドウイングとは、英語音声聞いて、それにあわせて英語で即座に同じことを声に出して練習する勉強法である。</p> <p>英単語の修得とシャドウイングについては毎回小テストを実施し、理解度と修得度を確認、評価する。</p>	
キーワード	医科学、英単語、シャドウイング、文献、プレゼンテーション	

授業計画	<p>(11) 10/3 Chapter 1 名詞：超頻出 176、シャドウイング</p> <p>(12) 10/10 Chapter 2 名詞：超頻出 112、シャドウイング</p> <p>(13) 10/17 Chapter 3 動詞：超頻出 112</p> <p>(14) 10/24 Chapter 4 形容詞：超頻出 176、シャドウイング</p> <p>(15) 10/31 Chapter 5 名詞：頻出 112、シャドウイング</p> <p>(16) 11/14 Chapter 6 形容詞：頻出 112、シャドウイング</p> <p>(17) 11/21 Chapter 7 副詞：頻出 32、シャドウイング</p> <p>(18) 12/5 Chapter 8 動詞句：頻出 240、シャドウイング</p> <p>(19) 12/12 Chapter 9 形容詞句・副詞句：頻出 32、シャドウイング</p> <p>(20) 12/19 Chapter 10 群前置詞：頻出 16、シャドウイング</p> <p>12/26 期末テスト (シャドウイングを含む)</p>
学修時間の割り当て及び授業外における学修方法	<p>自習 (80%)、演習・テスト (20%)</p> <p>英単語の例文における使われ方について理解する。 繰り返して英語の音声を聞き、正確に繰り返すことを何度も行う。</p>
単位取得要件	<p>小テストと期末テストの合計で、満点の 60%以上をとること。</p>
成績評価方法	<p>小テスト (60%) 及び期末テスト (40%) の合計で成績を評価する。成績評価 (A+, A、B、C、D) は小テストと期末テストの合計点に基づいて行う。</p>
教材・参考文献・配付資料等	<p>指定教科書：キクタン (聞いて覚える単熟語) 英検準 1 級 (一杉武史 編著、アルク)、音読パッケージトレーニング (森沢洋介著)</p> <p>その他、必要な教材がある場合は manaba で配布する。 https://manaba.tsukuba.ac.jp/</p>
その他 (受講生にのぞむことや受講上の注意点等)	<p>本科目では再試験は実施しない。</p> <p>秋学期の授業計画については、春学期の達成度および成績をもとに作成し、事前に周知する予定である。</p> <p>学年末に TOEIC または TOEFL を受験し、実力を確認することを推奨する。</p> <p>10/3 の最初の講義から単語テストとシャドウイングテストを行う。 出題範囲： Chapter 1 名詞：超頻出 176、シャドウイング Program Three 1, 2 シャドウイングのテストは春学期と同様に毎回講義で受験者をきめる。全員準備をしてくること。 なお 2 回目以降の出題範囲は最初の授業で指示する</p>